

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
香川県東部地域	さぬき市、東かがわ市、三木町 香川県東部清掃施設組合	平成 23 年 4 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで	平成 23 年 4 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成21年度)	目標 (割合※1) (平成30年度) A	実績 (割合※1) (平成30年度) B	実績 B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	6,976 t	6,698 t (-4.0%)	7,512 t ( 7.7%)	112.2%
	1 事業所当たりの排出量	1.33 t	1.28 t (-3.8%)	1.55 t ( 20.9%)	120.9%
	家庭系 総排出量	24,408 t	21,407 t (-12.3%)	21,531 t (-11.8%)	100.6%
	1 人当たりの排出量	205.4 kg/人	195.7 kg/人 (-4.7%)	197.7 kg/人 (-3.8%)	101.0%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	31,384 t	28,105 t (-10.4%)	29,043 t (-7.5%)	103.3%
再生利用量	直接資源化量	3,857 t (10.4%)	3,476 t (10.5%)	2,468 t ( 7.8%)	71.0%
	総資源化量	10,652 t (28.8%)	9,604 t (28.9%)	9,030 t ( 24.1%)	94.0%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	8,974.07 MWh	8,045.55 MWh	8,213.85 MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	26,337 t (71.2%)	23,628 t (71.0%)	24,868 t ( 78.9%)	105.3%
最終処分量	埋立最終処分量	0 t ( 0.0%)	0 t ( 0.0%)	0 t ( 0.0%)	0.0%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	子供ごみ処理教室	香川県東部清掃施設組合、さぬき市、東かがわ市、三木町	香川県東部地域の小中学生を対象に環境教育事業を行う。	H23～H29 (H23～H29)	<p>【香川県東部清掃施設組合】 圏内の小学 4 年生を対象に施設見学を通じて、実施継続中。</p> <p>【さぬき市】 市内の小学 4 年生の授業の一環として、施設の見学などを実施・継続中</p> <p>【東かがわ市】 教育委員会と連携を図り、小学 3 年生を対象に地域の環境の学習、小学 4 年生を対象に社会科の授業でゴミの処理と利用の学習を実施・継続中。</p> <p>【三木町】 小中学校に対して社会見学、インターンシップ等を通じて、実施・継続中。</p>
	12	マイバッグ運動・レジ袋対策の実施	さぬき市、東かがわ市、三木町	商工会等の関係機関と協力し、レジ袋の有料化、マイバッグ運動を実施する。	H23～H29 (H23～H29)	<p>【さぬき市】 ホームページ等により、ごみの減量化・リサイクルの啓発を実施。</p> <p>【東かがわ市】 広報やホームページで啓発活動を実施し、また、市内の拠点施設での街頭キャンペーンを実施することにより、マイバッグ運動等の普及啓発に努めた。</p> <p>【三木町】 広報等によりチラシを配布した。</p>

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	13	生ごみの減量化	さぬき市、東かがわ市、三木町	生ごみ堆肥化容器等の購入補助制度を継続し、生ごみの減量化を図る。	H23～H29 (H23～H29)	<p>【さぬき市】 生ごみ処理購入補助金制度により減量化を実施。 (101基/7年)</p> <p>【東かがわ市】 広報やホームページにて、堆肥化の助成制度の周知を図り、生ごみ堆肥化助成を実施。 (164基/7年)</p> <p>【三木町】 助成制度による減量化を実施した。</p>
処理体制の構築、変更に関するもの	21	収集運搬の効率化	さぬき市、東かがわ市	東かがわ市、さぬき市にストックヤード整備により、収集運搬の効率化を図る。	H26～H29 (H26～H29)	<p>【さぬき市】 既存施設の解体等が困難であり、ストックヤードの整備が見送りとなった。</p> <p>【東かがわ市】 市内3箇所の収集拠点を1箇所に集約することにより、収集作業の一元化、維持管理費の軽減を図り、効率的な収集運搬体制を構築した。</p>
処理施設の整備に関するもの	1	東かがわ市大内クリーンセンター解体工事及びストックヤード等整備事業	東かがわ市	既存焼却炉を解体し、可燃ごみ等の積替え施設及びストックヤードを整備する。	H23～H24 (H23～H24)	収集したごみの積替え施設やストックヤードを新たに整備し、平成25年3月に竣工。
	2	(仮称)香川東部再資源化センター整備事業	香川県東部清掃施設組合	ビン類、缶類、熔融スラグの資源化を推進する。	H24～H24 (H24～H24)	さぬき市及び東かがわ市のビン類及び缶類の資源化を推進するため、「香川東部再資源化センター」を整備、平成26年度に竣工。 (処理能力：3.7トン/日)

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
処理施設の整備に関するもの	3	香川東部溶融クリーンセンター先進的設備導入事業	香川県東部清掃施設組合	温室効果ガスの削減を 20%以上削減するとともに延命化対策を講じることで施設を長期にわたり安定的に活用する。	H27～29 (H27～H29)	基幹的設備改良事業の実施により、平成 44 年度までの延命化を図るとともに、事業前と比較し CO2 排出量を 35.3%削減した。
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1 の計画支援	東かがわ市	実施設計	H23 (H23)	【東かがわ市】平成 25 年 3 月の施設の稼働を目指し、施設稼働の円滑化が実現できる実施設計を行った。
	32	3 の計画支援	香川県東部清掃施設組合	発注仕様書等作成	H26 (H26)	平成 44 年度までの延命化計画と基幹改良工事による CO2 削減量を 20%以上見込んだ発注仕様書を作成した。
その他	41	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	さぬき市、東かがわ市、三木町	家電リサイクル法に基づく処理の普及啓発を行う。	H23～H29 (H23～H29)	【さぬき市】ホームページや広報誌において周知した。 【東かがわ市】広報やホームページで普及啓発を実施するとともに、小型家電回収ボックスを市内の各拠点に設置することにより、普及啓発のみならず、回収の効率化を図った。 【三木町】広報やホームページ等に掲載し、普及啓発を実施した。また、「三木町の家庭ごみの正しい分別と出し方」のパンフレットに記載した。

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
その他	42	不法投棄対策	さぬき市、東かがわ市、三木町	分別区分の徹底とパトロール強化、街灯の設置などによる不法投棄防止を図る。	H23～H29 (H23～H29)	<p>【さぬき市】 広報誌等により啓発をするとともに、不法投棄が多発している山間部や交通量の少ない場所へのパトロールを強化した。</p> <p>【東かがわ市】 広報やホームページで分別区分徹底の啓発をするとともに、不法投棄多発地点を中心に市民とともに年 9 回の不法投棄パトロールを実施した。また、監視カメラや啓発・注意看板を設置し、不法投棄の解消・抑制に努めた。</p> <p>【三木町】 不法投棄パトロールを定期的に月 1 回程度実施した。</p>
	43	災害時の廃棄物処理体制の整備	さぬき市、東かがわ市、三木町、香川県東部清掃施設組合	広域的処理体制の確保を図るため、構成市町との連携をより一層図っていく。	H23～H29 (H23～H29)	<p>【さぬき市】 平成 29 年度において、災害廃棄物処理計画を策定した。構成市町との連携については、継続検討とする。</p> <p>【東かがわ市】 平成 27 年度において災害廃棄物処理計画を策定し、管内関係市町と連絡・調整・協議を実施し、連携を強化するよう努めた。</p> <p>【三木町】 災害廃棄物処理計画を策定した。</p>

### 3 事業実施による二酸化炭素削減効果について

#### (1) 削減量（実績）

香川東部溶融クリーンセンター基幹的設備改良工事で実施した CO2 排出量の検証結果は以下のとおり。  
なお、二酸化炭素排出量及び二酸化炭素削減率については、「廃棄物処理施設の基幹的設備改良マニュアル（平成 30 年 3 月改定 環境省）」に従い算出した。

#### ・二酸化炭素排出量及び削減率

基幹的設備改良工事前【実績値】（平成 26 年 9 月）	5,213t-CO2/年	
基幹的設備改良工事後【目標値】（香川東部溶融クリーンセンター二酸化炭素削減計画書）	2,677t-CO2/年	削減率 24.9%
基幹的設備改良工事後【実績値】（平成 30 年 3 月 26 日～27 日）	1,625t-CO2/年	削減率 35.3%

※別添「香川東部溶融クリーンセンター基幹的設備改良工事 CO2 削減報告書」のとおり

#### (2) 削減量に達しなかった場合の原因

（（1）の削減量（実績）が、延命化計画又は同様の内容を含む他の計画において算定した二酸化炭素削減量に達しなかった場合に、その原因を分析し、その結果を詳細かつ具体的に記入する。（上記計画において算定した二酸化炭素削減量に達した場合は、記入を要しない。））

#### 4 目標の達成状況に関する評価

##### 1. 排出量

###### 【事業系排出量】

目標値 6,698t（平成 21 年度比 -4.0%）に対し実績値が 7,512t（平成 21 年度比 +7.7%）であり、目標を達成することが出来なかった。

1 事業所当たりの排出量でも、目標値 1.28t/事業所（平成 21 年度比 -3.8%）に対して実績値 1.75t/事業所（平成 21 年度比 +27.1%）となり、目標達成に至らなかった。

要因としては、景気回復に加え、高齢化による養護施設の著しい増加や単身世帯（アパートなど集合住宅）の増加が考えられる。

###### 【家庭系排出量】

目標値 21,407t（平成 21 年度比 -12.3%）に対し実績値が 21,531t（平成 21 年度比 -11.8%）であり、概ね目標を達成することが出来た。

1 人当たりの排出量でも、目標値 195.7kg/人（平成 21 年度比 -12.3%）に対して実績値 197.7kg/人（平成 21 年度比 -3.8%）となり、概ね目標を達成することが出来た。

目標値に僅かながら届かなかった要因としては、人口減少（-9.6%）に対し、世帯数の減少（-2.2%）が緩やかであり、世帯人数の減少に伴う 1 人当たり排出量の増加が考えられる（一般的に、世帯人員が少なくなるほど 1 人当たりの排出量は増加する。）。

##### 2. 再生利用量

直接資源化量（達成率 71.0%）、総資源化量（達成率 94.0%）ともに目標を達成することが出来なかった。

要因としては、人口減少による資源ごみ排出量の減少に加え、製造段階での容器包装の減量化が進んでいることや資源ごみの店頭回収の普及などが考えられる。

##### 3. 熱回収量

目標の 8,045.55MWh に対し、実績は 8,213MWh となり、目標を達成することが出来た。

##### 4. 減量化量

目標の 23,628t に対し、実績は 24,868t となり、目標を達成することが出来なかった。

要因としては、事業系ごみ排出量の増加であると考えられる。

##### 5. 最終処分量

最終処分量に関しては、0 t を維持している。

#### (都道府県知事の所見)

事業系排出量、再生利用量について、高齢化に伴う養護施設の増加等、経済状況の動向により目標値に届かなかったものの、家庭系排出量については、概ね、熱回収量については実績値が目標値を達成できていると評価できる。

二酸化炭素削減効果については、削減率が 3 割を超えており、事業実施による効果がみられる。

今後も引き続き廃棄物の発生抑制に取り組むとともに、整備した施設を活用し、廃棄物の再生利用及び適正処理を推進していただきたい。